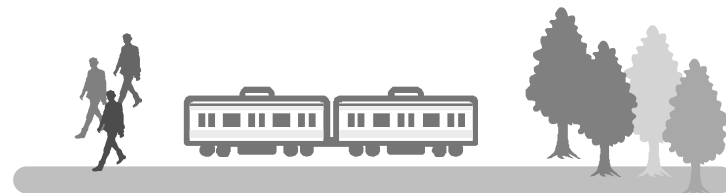




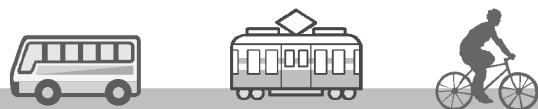
3.11 から1年 交通を考える研究会 の意見まとめ



震災を経験した 仙台から

クルマ中心の暮らしを

見直していこうよ



※津波の被害を直接受けていない地域についての話です。

交通を考える研究会では、3.11震災での経験をもとに、仙台の中心部の生活交通について、意見交換を行いました。

クルマは、
震災発生から3週間以上、
ガソリン不足に悩まされました。

**クルマに頼りすぎの生活を
見直していきましょう。**

路線バスは、
震災発生の翌日から
一部で運行されていました。

**身近な路線バスを
ふだんから利用しましょう。**

自転車は、
便利さが見直され、
多くの人利用しはじめました。

**自転車はルールを守って
歩行者優先で走りましょう。**

①【仙台駅からの公共交通機関】 3. 11震災後の運行状況をふりかえってみましょう。

(交通を考える研究会が当時の報道などから調べたものです。)

月日		3月														4月														5																							
月日		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
月日		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日							
出来事		震災発生														大余震																																					
出来事		仙台市中心部のガソリンスタンドに給油待ち車両長蛇の列														東北自動車道規制解除 大型車のみ▼ ▼一般車																																					
JR	北方面															~岩切														松島 利府	~利府・岩切・一関方面 (宮城県内全線再開)																						
	南方面															~名取・岩沼														福島まで	~岩沼・福島方面(宮城県内全線再開) 常磐線は亘理まで																						
	仙石線															~小鶴新田														~小鶴新田	~東塩釜																						
	仙山線															~愛子														~愛子	山形まで全線復旧 (通常ダイヤ)																						
仙台市地下鉄		富沢~台原(臨時ダイヤ) ※台原~泉中央は不通																												全線 復旧																							
路線バス	仙台市営バス	約25路線 ↑主要幹線(30~60分間隔) 一部で臨時的に運行							約30路線 6:30-20:30 限定							ほぼ通常路線 (休日ダイヤ) 6:30+20:30 限定							ほぼ通常路線 (休日ダイヤ)							ほぼ通常路線に復旧 (通常ダイヤ) 霊屋橋 経由再開																							
	宮城交通バス	ほぼ通常路線 (休日ダイヤの間引き) 7:00-20:30 限定							ほぼ通常路線 (休日ダイヤ)							ほぼ通常路線 (平日と土曜は土曜ダイヤ、休日は休日ダイヤ)							ほぼ通常路線に復旧 (通常ダイヤ) 霊屋橋 経由再開																														

② 3. 11震災のあと、仙台中心部の生活交通手段は、どう変化したのでしょうか。

平成23年9月20日実施「公共の交通を考える座談会」と、当研究会の定例会での意見交換のまとめ

～ 日常生活で利用する交通手段の状況 ～

	震災発生後およそ1ヶ月間	1年が経過して
クルマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンが不足し、クルマで出歩けない人もいた。 ・ガソリンスタンドに長蛇の列が3週間以上続いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買物・私事などのクルマ利用は元に戻った。(クルマは便利) ・高速道路の無料化により、行動範囲は広がった。 ・JR通勤者などは、クルマに切り替えた人もいそう。 ・通勤利用は一部で減ったかもしれない。(原付・自転車へ)
JR	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど動いておらず、4/7 余震でもストップした。 ・代行バスが多数運行されたが、相当混雑した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨・強風を含め「JRはよく止まる」イメージができたかも。 ・クルマに切替えた層の分、通勤の利用者は減ったかも。
地下鉄	<ul style="list-style-type: none"> ・JR などから利用者が流れ、通勤時は混雑した。 ・台原～泉中央の代行バスの混雑もひどかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災前と比べた利用者の増減はわからない。 ・JR 不通時にスムーズに地下鉄に切替える習慣ができた。
バス	<ul style="list-style-type: none"> ・一部ではあったが、ともかく走ってはいた。 ・混んでいたが、利用できた人にとっては有難かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤通学が主で、利用者数は震災前と変化ないはず。 ・震災を機にバス利用に切替えた人は、おそらくいないだろう。
自転車	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の利用者は、かなり増えた。 ・最初はやむを得ずでも、便利なので習慣になった。 ・市は、5月まで放置自転車取締りを見合わせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通勤者は、震災前に比べて明らかに増えた。(冬季はどうなったかなどデータはないが、依然多い。) ・自転車が増え、歩行者・自動車との共存が課題となった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・春休みが幸いしたが、それでも混雑・混乱した。 ・歩き・自転車を強いられた人が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩の許容範囲は、広がった。 ・多様な交通手段を選択できる人が増えた。

※注：津波の被害を直接受けていない仙台の中心部についてです。また、個人の主観的な感想も含まれています。

③ これからは、いろいろな交通手段を上手に使える市民になりましょう。

「震災を経験した仙台から クルマ中心の暮らしを見直していこうよ」

クルマに頼りすぎの生活を見直していきましょう。

身近な路線バスをふだんから利用しましょう。

自転車はルールを守って歩行者優先で走りましょう。

- 天気のいい日は、クルマをおいて、歩きか自転車で出かけましょう。
- バスは、災害時にも頼れる交通手段。みんなで乗って、支えていきましょう。
- 自転車は車道を走るのが基本。走行可の歩道でも、歩行者の安全安心を最優先に乗りましょう。
- クルマを利用するときは、環境にやさしいバスや自転車が走りやすいように運転しましょう。
- 災害やガソリン不足も想定し、ふだんからクルマだけでなく、いろいろな交通手段を利用しましょう。

行政・交通事業者は

- 多くの人がクルマに頼らずに、公共交通をもっと便利に利用できるように…
- せっかく増えた環境にやさしい自転車が、もっと安心して走れるように…
- 災害時に強いエネルギー効率の高い交通手段が、もっと増えていくように…

公共交通と自転車を中心としたまちづくりに、市民とともに取り組んでいきましょう。



バス使いになろうよ

<http://norimajo.cocolog-nifty.com>

仙台の公共交通を
上手に使いたい・使ってもらいたい

交通を考える研究会

<http://pstm.sakura.ne.jp/Kotsu/>

(「まちづくり政策フォーラム」の研究会です。)